

## 目次

目次 / 自助・共助・公助について・・・p2  
「どこへ」逃げるのか-マップの使用方法・・・p3

### 【1洪水編】

「いつ」「どうやって」逃げるのか-洪水編・・・p4  
洪水ハザードマップ中川流域・・・p8  
洪水ハザードマップ利根川・小山川・・・p10  
洪水ハザードマップ荒川・・・p12  
浸水継続時間・・・p14  
日頃から備える-マイ・タイムライン・・・p16

### 【2地震編】

「いつ」「どうやって」逃げるのか-地震編・・・p18  
揺れやすさ・液状化マップ・・・p20  
地域の危険度マップ・・・p22  
避難場所一覧・災害情報の入手手段・・・p24

## 自助・共助・公助について

### 災害に強いまちを作るために

#### まずは、自分の身は自分で守ってください

- 建物の下敷きにならないために、自宅の耐震診断や耐震補強をしてください。
- 転倒した家具でけがをしないために、家具の転倒防止をしてください。
- 食料や飲料水、生活必需品などの家庭内備蓄（最低3日分）をしてください。
- 災害の前兆や身の危険を感じたら、早めの自主避難を心がけてください。

自助

#### 次に、地域で助け合ってください

- 隣近所で安否確認をしてください。もし逃げ遅れた人や、被災している人がいたら、協力して救助してください。
- 避難場所では、避難者同士が協力しましょう。

共助

#### 防災機関の救助活動について

- 大規模災害時は、市や消防、警察などの救援・救助には限界があります。
- 不足する物資を把握し、救援物資が行き渡るまでには最低3日以上かかるといわれています。
- そのため、皆さま一人一人の自助及び共助が必要となります。

公助

## 「どこへ」逃げるのか-マップの使用方法

- 次のステップに従って、必要な情報をこのマップに実際に書き込んで、あなたの家族内の防災マップを完成させてください。
- マップ上に避難経路や危険な箇所などを赤いペンなどで直接記入してください。
- 地震と洪水では、使用できる避難場所や安全な避難経路が異なる場合がありますので、災害に合わせてそれぞれ選択しましょう。
- 洪水では、自宅などの知りたい場所の浸水リスクをCGアニメーションで表示する「浸水ナビ」を活用してください。

浸水ナビ

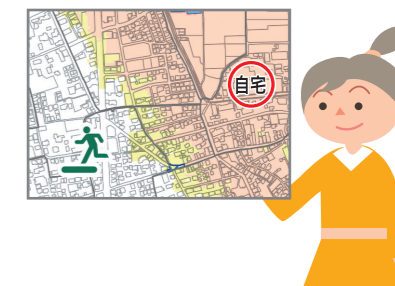
地点別浸水シミュレーション検索システム  
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>



### Step1

あなたの家の位置を探して、周辺の浸水箇所や危険箇所などの状況を確認し、地図に記入しましょう。

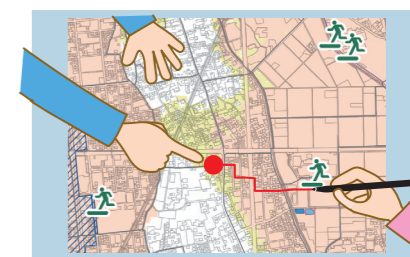
- チェックしましょう
- あなたの家はどこですか？(あなたの家に印をつけましょう)
  - 洪水時にあなたの家の辺りは、どのくらいの水深になりますか？( m)
  - 浸水した場合の継続時間はどのくらいですか？( 時間)
  - 地震時にあなたの家の辺りは、どのくらいの震度になりますか？
  - あなたの家の周囲に、災害の危険がある箇所や地震のときに倒壊しそうなブロック塀等がありますか？



### Step2

あなたの家の避難場所と避難経路を選択しましょう。

- チェックしましょう
- あなたの家の避難場所はどこですか？  
洪水時 8~15p 参照 地震時 20~23p 参照
  - あなたの家から避難場所までの距離はどのくらいですか？( m 位)
  - あなたの家から避難場所までの最も安全な経路はどこですか？
  - その他の避難経路の候補はありますか？



### Step3

あなたが地図上で選択した避難経路を実際に歩いて安全かどうか確認しましょう。  
(その他の避難経路も確認しましょう)

- チェックしましょう
- 避難経路上は、どのくらいの水深になりますか？( m 位)
  - 避難経路に沿って、大雨になると勢いよく水が流れたり、たまたたりするような場所がありますか？
  - 避難経路に沿って、ブロック塀や看板など倒壊や落下のおそれ等があるものはありますか？



マップが完成したら、すぐに避難できるよう非常用持出し品を準備しましょう